

北朝鮮によるミサイル発射に係る対応について

北朝鮮によるミサイル発射に係わって、Jアラートを通じて緊急情報が出された場合、次のように対応しますので、ご協力をお願いします。

Jアラートを通じて緊急情報が出された場合の対応

① **愛知県に、「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が出された場合**

登校前	自宅で安全確保 続報によって安全が確認できたら、登校
登校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま登校
在校中	学校で安全確保
下校中	近くの建物等で安全確保 続報によって安全が確認できたら、そのまま下校

安全確保については、※1の①、②を参照

続報による安全確認については、※2、3の②を参照

② 発射情報に引き続き、「落下場所等についての情報（日本の領土・領海に落下）」（別紙1の③参照）が出された場合

引き続き屋内に避難する必要があるため、自宅待機中の場合は、登校を見合わせ、安全が確認されるまで、休業とします。

学校に生徒がいる場合は、安全が確認されるまで、学校で待機させます。

登下校中の場合は、安全確保に努めるようお話してください。

いずれの場合も、Jアラートによる続報に注意することが大切です。

③ 発射情報に引き続き、「ミサイル通過情報」（※2の②参照）または、「落下場所等についての情報（日本の領海外の海域に落下）」（※3の②参照）が出された場合

屋内に避難する必要がなくなるため、自宅待機中の場合は、Jアラートによる情報で安全を確認し、授業時間中の場合は登校を開始してください。

学校に生徒がいる場合は、通常授業となります。

(1) 日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断した場合

弾道ミサイル発射



① ミサイル発射情報・避難の呼びかけ

「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物中、又は地下に避難してください。」

※ まず、上記の発射情報を伝達し、避難を呼びかけます。

屋外にいる場合は近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいですが、頑丈な建物がなければ、それ以外の建物でも構いません）の中、又は地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難して下さい。

屋内にいる場合には、すぐに避難できる場所に丈夫な建物や地下があれば直ちにそちらに避難して下さい。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい。



② 直ちに避難することの呼びかけ

「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。」

※ ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断した場合、直ちに避難することの呼びかけを行います。

屋外にいる場合は、直ちに近くの建物の中、又は地下に避難して下さい。また、近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守って下さい。

屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい。



③ 落下場所等についての情報（日本の領土・領海に落下）

「ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが● ● 地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。」

※ ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合は、落下場所等の情報を伝達します。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。

(2) 日本の領土・領海の上空を通過した場合

弾道ミサイル発射



① ミサイル発射情報・避難の呼びかけ

「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物中、又は地下に避難してください。」

※ まず、上記の発射情報を伝達し、避難を呼びかけます。

屋外にいる場合は近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいですが、頑丈な建物がなければ、それ以外の建物でも構いません）の中、又は地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難して下さい。

屋内にいる場合には、すぐに避難できるところに丈夫な建物や地下があれば直ちにそちらに避難して下さい。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい。



② ミサイル通過情報

「ミサイル通過。ミサイル通過。先ほどのミサイルは、● ● 地方から● ● へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

※ ミサイルが日本の上空を通過したことが確認された場合は、その情報を伝達します。

引き続き屋内に避難する必要はありませんが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防や海上保安庁に連絡して下さい。

(3) 日本の領海外の海域に落下した場合

弾道ミサイル発射



① ミサイル発射情報・避難の呼びかけ

「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物中、又は地下に避難してください。」

※ まず、上記の発射情報を伝達し、避難を呼びかけます。

屋外にいる場合は近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいですが、頑丈な建物がなければ、それ以外の建物でも構いません）の中、又は地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難して下さい。

屋内にいる場合には、すぐに避難できるところに丈夫な建物や地下があれば直ちにそちらに避難して下さい。それができなければ、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい。



② 落下場所等についての情報（日本の領海外の海域に落下）

「先ほどのミサイルは、● ● 海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

※ ミサイルが日本まで飛来せず、領海外の海域に落下したと推定される場合には、上記の情報を伝達します。

引き続き屋内に避難する必要はありませんが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防や海上保安庁に連絡して下さい。

(注1) 状況に応じて送信するため、上記メッセージを全て送信するとは限りません。

(注2) 上記のメッセージは、状況に応じ、変更する場合があります。

(注3) 自衛隊によるミサイル迎撃の状況等により情報伝達の流れが変わる可能性があります。

内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/nkjalert.html>